

Sepracor Inc.の買収合意に関する 説明会資料

2009年9月3日

大日本住友製薬株式会社

代表取締役社長
多田 正世

目次

- 買収の目的
- Sepracorの概要
- 買収によるメリット
- 買収の概要及び財務インパクト



当社の中長期ビジョンにおける米国自販体制

- 中長期の成長戦略の大きな柱である海外自販体制の確立

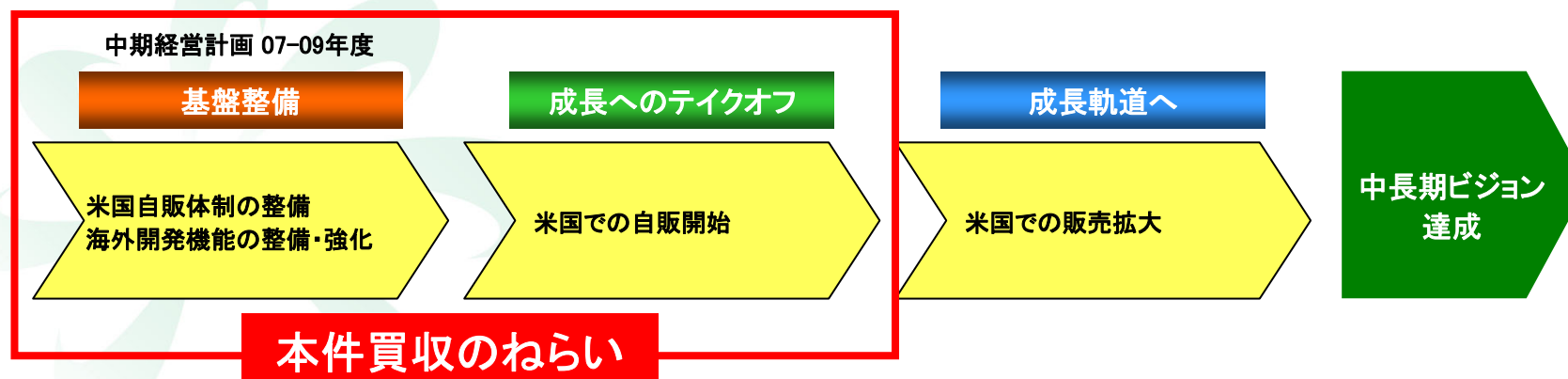
中長期ビジョン

- ◆国内事業を強固な収益基盤として確立
- ◆海外自販の進展
- ◆将来像実現のための開発パイプラインの充実

15年後⁽¹⁾の将来像

- グローバルレベルで戦える研究開発型企业
- 国内・海外事業が収益の2本柱

海外自販：中長期ビジョンの達成への道筋



1. 中長期ビジョンが策定された2007年時点。

本買収の意義

- 米国でのルラシドンの早期立ち上げと事業価値の最大化
- 海外基盤の確立
- 医薬品事業の拡大
- 開発パイプラインの一層の拡充

目次

- 買収の目的
- Sepracorの概要
- 買収によるメリット
- 買収の概要及び財務インパクト



会社概要

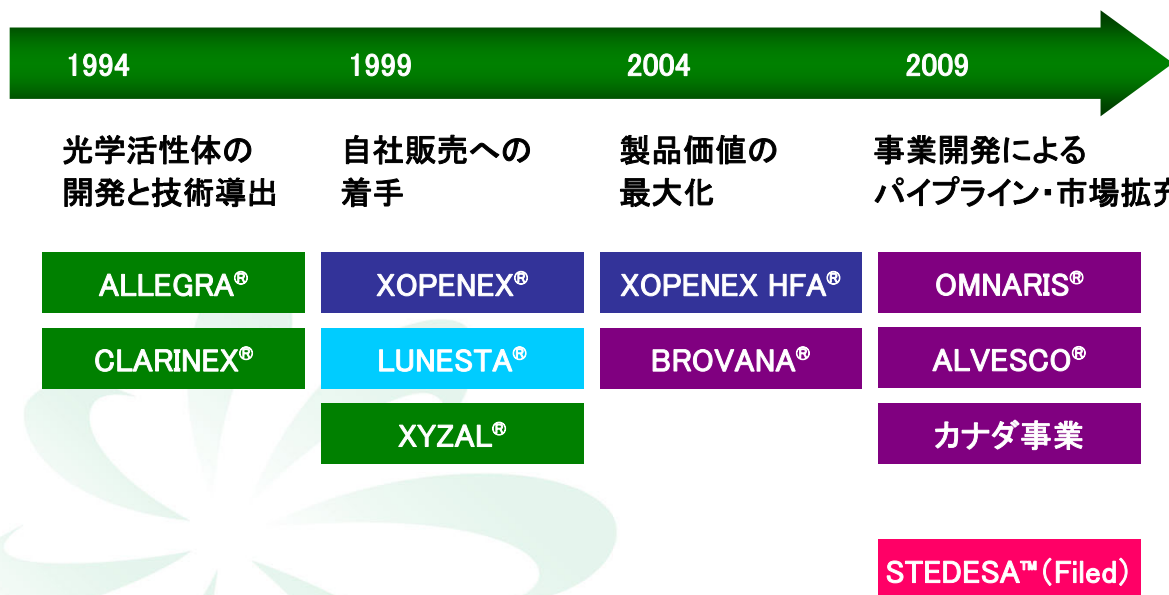
- 1984年設立、1991年NASDAQ上場
- 米国マサチューセッツ州マールボロを拠点として全米、カナダで事業を展開
- 光学活性体、活性代謝体の開発におけるパイオニアとして事業を拡大
- 中枢神経領域、呼吸器領域の医療用医薬品の研究・開発・当局対応・製造・マーケティング・販売の全機能を自社で保有する製薬企業
 - 睡眠導入剤LUNESTA[®]、吸入喘息薬XOPENEX[®]を含む6製品を販売
 - 中枢神経領域、呼吸器領域に有望なパイプライン製品
 - 導出したALLEGRA[®]、CLARINEX[®]、XYZAL[®]のロイヤルティを受領
- 売上高1,292百万米ドル、純利益480百万米ドル(2008年12月期)
- 従業員数：約2,100名(2009年6月30日時点)
 - うちMR約1,200名、研究開発部門256名
- 手元流動性：2009年6月末時点で503百万ドル⁽¹⁾

(出所) 会社開示資料、SECファイリング、会社ホームページ

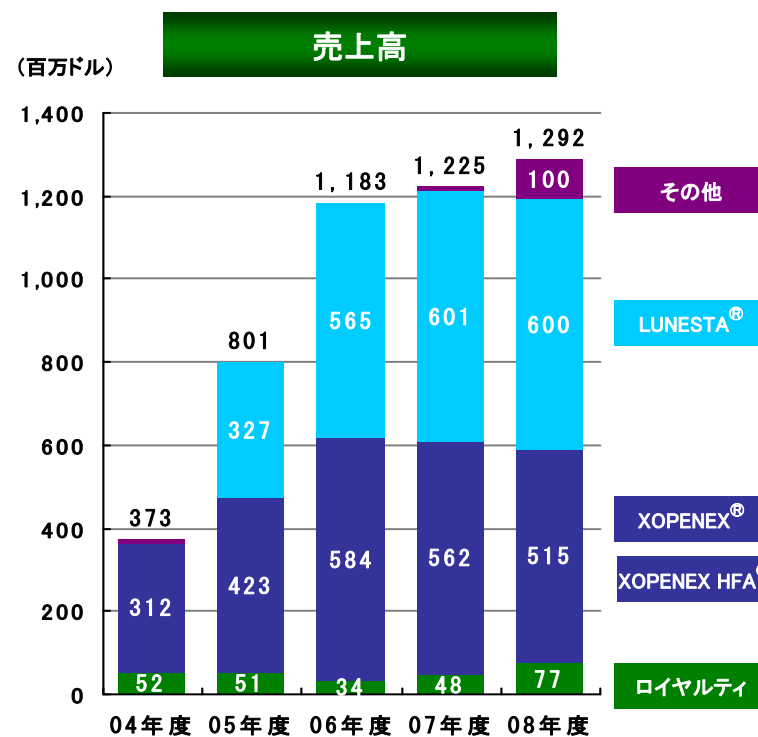
1. 短期有価証券を含む。

事業形態を進化させながらの継続的成長

- 継続した製品の上市実績
- 強固な自社販売網の構築
- 事業開発によるパイプライン及び参入市場の拡充
- 2008年売上高約1,292百万米ドル



(出所) 会社開示資料、会社ホームページ



製薬企業として完全な機能を集積

項目	内容
営業・マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> ■ 米国およびカナダ市場における開業医から専門医をカバーする強固な販売網 ■ 士気の高いMRによる効率的な営業 ■ XOPENEX[®]、LUNESTA[®]を育成した実績
研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 光学活性体、活性代謝体の新薬開発における相次ぐ成功 ■ 2003年以降6品のIND実績 ■ 臨床開発及びFDA承認プロセスに関する高い知識・経験 ■ 市場ニーズを捉えたライフサイクルマネジメントの設計
事業開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業開発チームの広範なネットワーク、パイプライン候補の獲得能力 ■ OMNARIS[®]、ALVESCO[®]、STEDESA[™]を導入し製品ラインを拡充
製造	<ul style="list-style-type: none"> ■ Sepracor CanadaにてXOPENEX[®]、LUNESTA[®]の原薬製造
経営陣	<ul style="list-style-type: none"> ■ グローバルな製薬業界における豊富な経験 ■ 事業モデルの革新を押し進める実行力

主な製品と販売体制

MR体制 ⁽¹⁾ (合計1,200名)	製品	概要
LUNESTA® OMNARIS® (755名)	 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 睡眠導入剤／非ベンゾジアゼピン系GABA_Aアゴニスト ■ 6ヶ月間の長期服用、定着したブランドカ ■ アレルギー性鼻炎／シクレソニド点鼻剤 ■ Nycomed社より導入(2008年1月)、直ちに上市(2008年4月)
BROVANA® (150名)		<ul style="list-style-type: none"> ■ COPD／長時間作用型β2作動薬、ネブライザー液 ■ 150人の専門セールスによる着実な浸透
XOPENEX® ALVESCO® (295名)	  	<ul style="list-style-type: none"> ■ 喘息、COPD／短時間作用型β2作動薬、ネブライザー液 ■ ラセミ体のアルブテロールに優る認容性 ■ 定量噴霧式エアゾール製剤 ■ 喘息／吸入ステロイド剤 ■ Nycomed社より導入(2008年1月)、1日2回投与

(出所)会社開示資料、会社ホームページ
 1. 2009年6月30日時点。

主な開発パイプライン

PRODUCT DEVELOPMENT PIPELINE						
PRODUCT/CANDIDATE	INDICATION/TARGET	Preclinical	Phase I	Phase II	Phase III	Under FDA Review
STEDESA™*	Epilepsy	[Progress bar spanning Preclinical, Phase I, Phase II, and Phase III]				
OMNARIS® HFA MDI	Allergic Rhinitis	[Progress bar spanning Preclinical, Phase I, and Phase II]				
XOPENEX® I.S.** + ipratropium	COPD	[Progress bar spanning Preclinical, Phase I, and Phase II]				
SEP-225289†	Depression	[Progress bar spanning Preclinical, Phase I, and Phase II]				
SEP-0227018 (new LUNESTA® formulation)	Insomnia	[Progress bar spanning Preclinical, Phase I, and Phase II]				
SEP-227162 / SEP-227164	Depression	[Progress bar spanning Preclinical and Phase I]				
SEP-228432	Depression/ADHD	[Progress bar spanning Preclinical and Phase I]				
SEP-227900	Neuropathic Pain	[Progress bar spanning Preclinical and Phase I]				
Ciclesonide I.S.**	Asthma	[Progress bar in Preclinical phase]				
BROVANA® + ciclesonide I.S.**	COPD	[Progress bar in Preclinical phase]				

* eslicarbazepine acetate under license from BIAL

** Inhalation Solution

† Preliminary results announced on July 1, 2009

経験豊富な経営陣

名前	経歴等
Adrian Adams	<ul style="list-style-type: none"> ■ President and Chief Executive Officer ■ 前職でKos PharmaceuticalsのCEO、Novartis-UKのCEO、SmithKline Beecham-UK international and Canada事業CEO等を歴任、ICI/Zeneca-UK, U.S. and international勤務
Mark H.N. Corrigan M.D.	<ul style="list-style-type: none"> ■ Executive Vice President Research and Development ■ 20年以上精神神経科医として勤務、前職はPharmaciaにてGroup Vice President
Mark Iwicki	<ul style="list-style-type: none"> ■ Executive Vice President and Chief Commercial Officer ■ 前職でNovartis、Merck、Astra Merckにてマーケティングの要職を歴任
Andrew I. Koven	<ul style="list-style-type: none"> ■ Executive Vice President, General Counsel and Corporate Secretary ■ 前職はKosにてEVP General Counsel、Warner-Lambert等にて法務業務に従事
Richard Ranieri	<ul style="list-style-type: none"> ■ Executive Vice President, Human Resources and Administration ■ 前職はNeurocrine Biosciences、Genencor International、GlaxoSmithKlineにて人事担当職歴任
Robert F. Scumaci	<ul style="list-style-type: none"> ■ Executive Vice President and Chief Financial Officer ■ 1995年Sepracor入社、Ares-Serono Groupにて経理担当Vice President

(出所) 会社開示資料、会社ホームページ

目次

- 買収の目的
- Sepracorの概要
- 買収によるメリット
- 買収の概要及び財務インパクト



本買収により期待される効果

- 米国でのルラシドンの早期立ち上げと事業価値の最大化
 - Sepracorの販売網を活用
 - CNS領域の既存製品とのシナジー
 - 販売網構築にかかる時間とコストを低減
- 海外基盤の確立
 - 海外売上高比率が約4割へ拡大
 - 米国において、既存の開発機能に加えて販売機能を保有
 - Sepracorの卓越したノウハウと経験の集積⇒事業展開リスクの低減
 - 品質保証、薬事、知的財産戦略など
 - 米国およびカナダの自販体制を背景にした事業開発機会の拡大

本買収により期待される効果

- 医薬品事業の拡大
 - Sepracorの優れたキャッシュ創出力の取り込み
 - 連結売上高、利益の拡大
 - 研究開発費の大幅な増加と生産性の向上
- 開発パイプラインの一層の拡充
 - 開発初期から後期まで切れ目のないパイプライン
 - 研究重点領域におけるシナジー（CNS、呼吸器と炎症・アレルギー）

ルラシドン事業の最大化

売上シナジー

- SepracorのCNS領域フランチャイズの活用による、早期の市場浸透と売上の拡大

コストシナジー

- MR新規採用コスト大幅縮小
 - 開業医および専門医向けのSepracorのMRの活用
- 新たな体制構築への投資の回避

ルラシドン 進捗状況

統合失調症

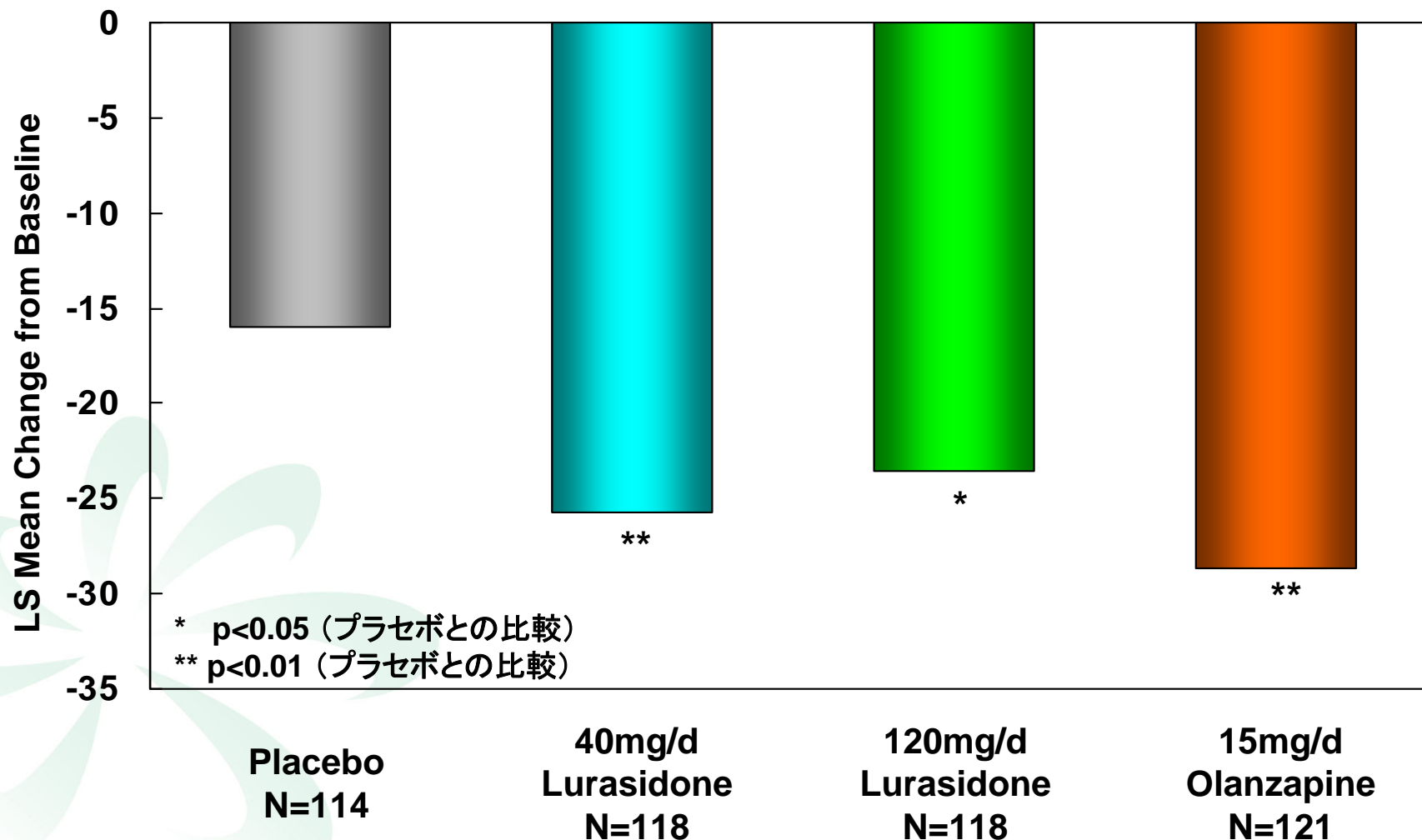
- プラセボ対照第Ⅲ相試験 (PEARL 1試験)
 - 良好な結果⇒APAで発表(5月20日)、プレスリリース(5月21日)
- 2009年5月、FDAとpre-NDAミーティングを実施、想定どおりに進行
- プラセボ対照第Ⅲ相試験 (PEARL 2試験)
 - プレスリリース(8月26日)
 - 40、120mgでプラセボを有意に上回る有効性
 - 良好な忍容性: 中止脱落率、体重や脂質への影響はプラセボと同程度
- プラセボ対照第Ⅲ相試験 (PEARL 3試験)
 - 2008年10月27日、スクリーニング開始、投与中
- 2010年初めに申請予定

双極性障害(うつ)

- 第Ⅲ相試験 (PREVAIL試験)
 - 2009年4月、スクリーニング開始、投与中

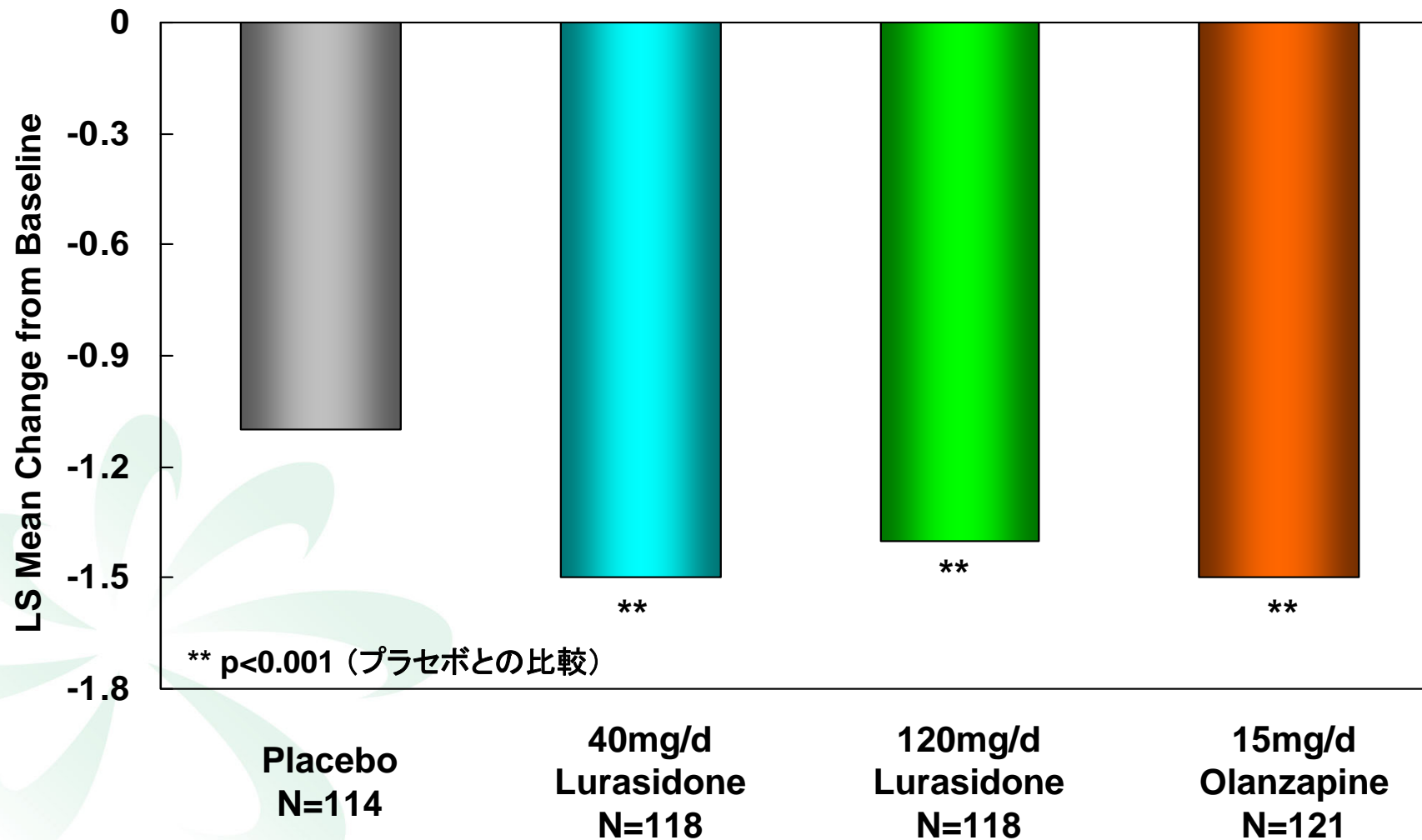
PEARL 2試験成績(有効性): PANSS総合点(MMRM)

投与前と比べた試験終了時の変化量



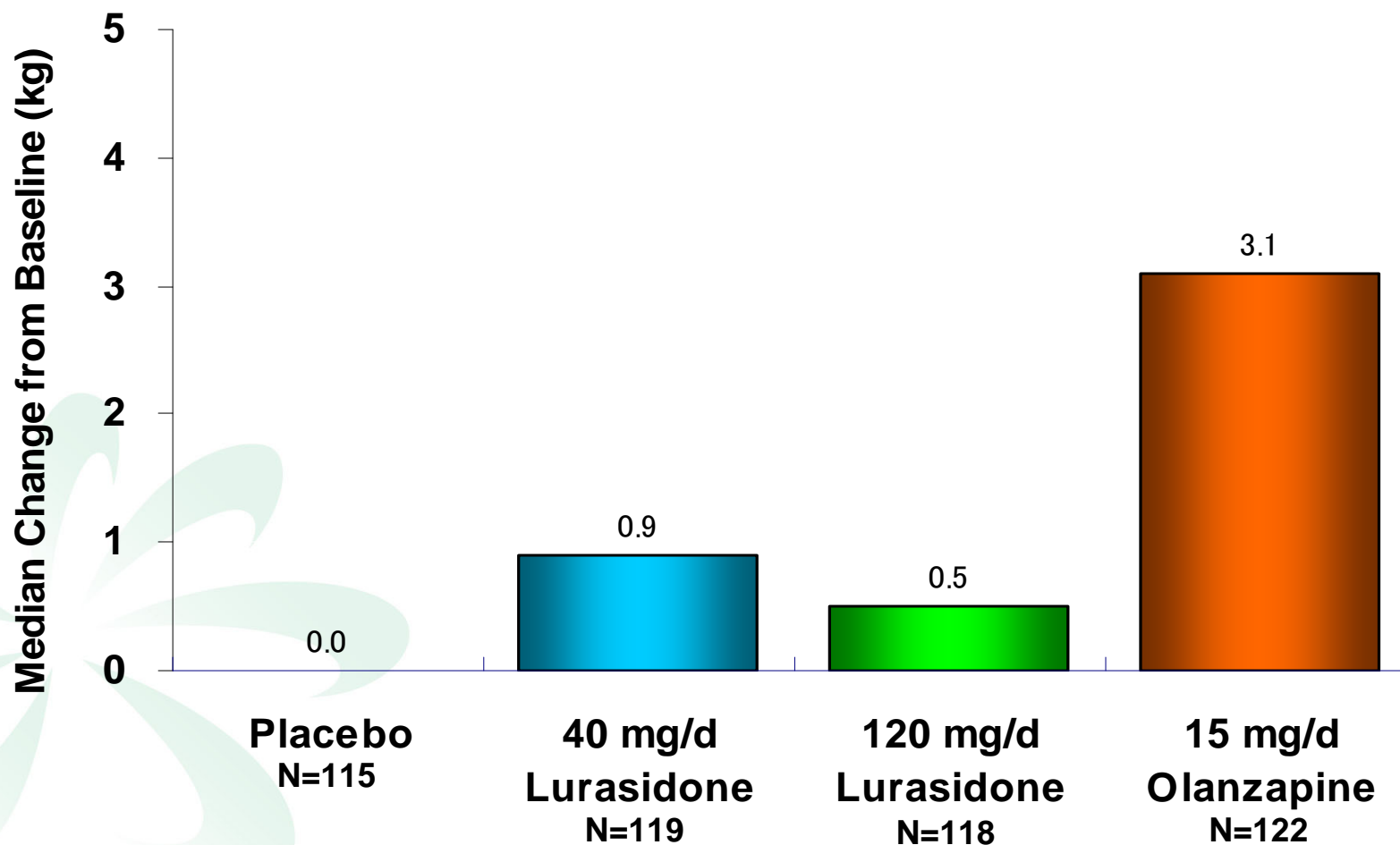
PEARL 2試験成績(有効性): CGI-S (MMRM)

投与前と比べた試験終了時の変化量



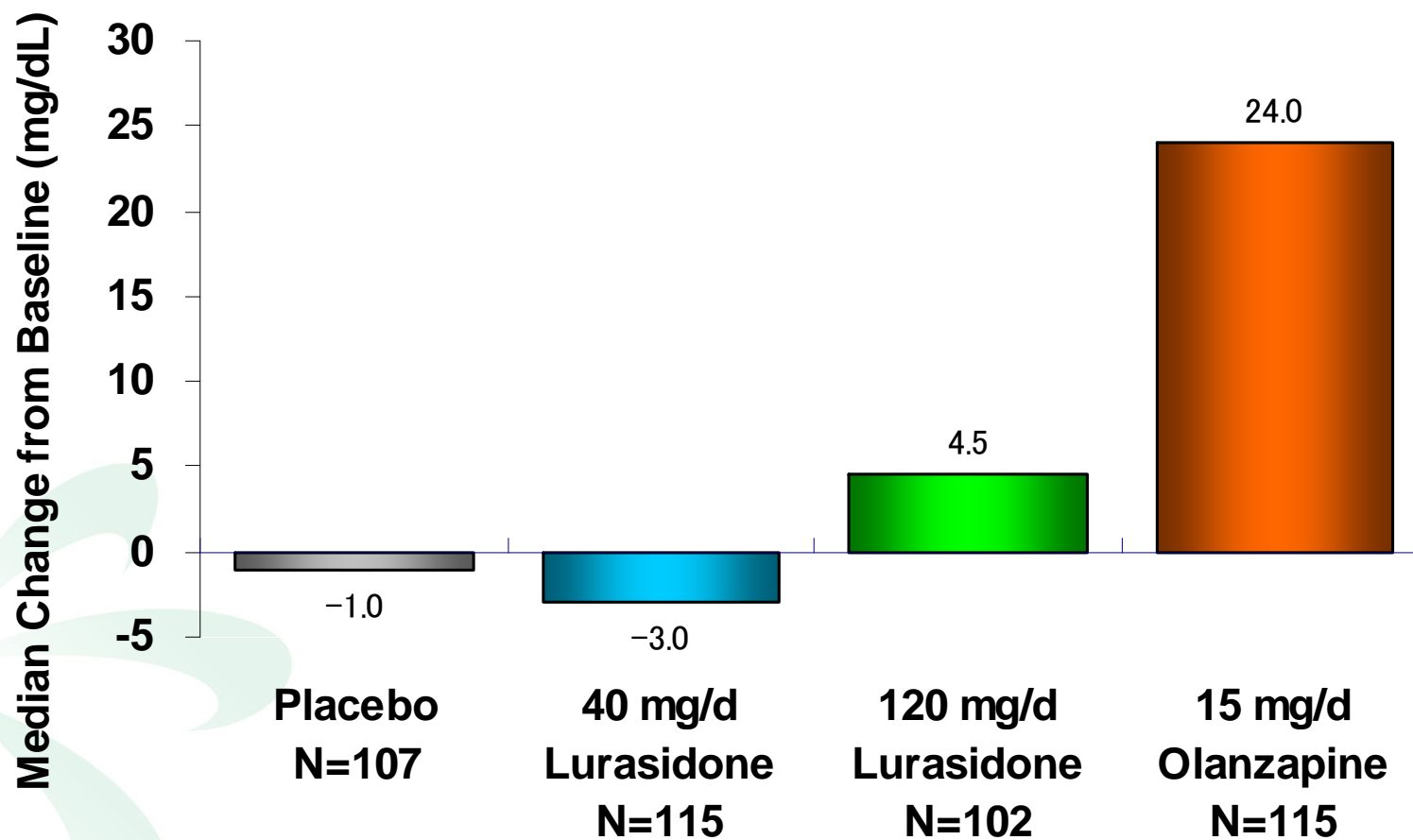
PEARL 2試験成績(安全性): 体重変化量 (LOCF)

試験終了時点における体重増加量の中央値



PEARL 2試験成績(安全性):トリグリセリド変化量 (LOCF)

試験終了時点における変化量の中央値



欧米におけるパイプラインの一層の拡充

	3→6	1→4	1→2	0→1	0→6
	Phase I	Phase II	Phase III	Under FDA Review	Marketed (U.S.)
CNS	SEP-'162 / SEP-'164 U.S. SEP-'432 U.S. SEP-'900 U.S.	SEP-'289 U.S. SEP-'018 U.S.	Lurasidone U.S./EU/Others	STEDESA™ U.S.	LUNESTA®
炎症・アレルギー(呼吸器)	SMP-028 U.S.	XOPENEX® / Ipra U.S.	OMNARIS HFA® U.S.		XOPENEX® XOPENEX HFA® BROVANA® OMNARIS® ALVESCO®
糖尿病	DSP-7238 EU DSP-8658 U.S.				
その他		SMP-986 U.S./EU			

 大日本住友製薬
  Sepracor

*上記は現時点における両社の製品及び研究開発中製品であり、将来的に上記のような構成になるかについては未定です。

目次

- 買収の目的
- Sepracorの概要
- 買収によるメリット
- 買収の概要及び財務インパクト



買収の概要

買収価格

- 一株当たり23ドル
- 2009年9月1日終値対して約27.6%のプレミアム
- 買収金額の総額は約26億米ドル

買収スキーム

- 米国の公開買付けによる買収
- 公開買付けは9月初旬に開始
- 公開買付け終了後、所定の手続きにより完全子会社化
- Sepracorの取締役会は本件買収に全会一致で賛同

買収資金

- 手元現金：約500億円
- ブリッジローン：約2,000億円
- パーマネント・ファイナンスは幅広い選択肢より検討

財務インパクト

損益への影響

- のれん償却、インプロセスR&Dに関する無形資産等についての詳細は確定次第公表

EPSへの影響

- 買収の影響で2012年3月期にはプラスに寄与
- のれん償却前のEPSは2011年3月期にはプラスに寄与

株主還元

- 当面は従来どおり、安定的な配当を重視
- 本買収による成長の果実を株主様へ還元

注意事項

<将来予想に関する記述>

本資料には、重大なリスク及び不確実性を伴う将来の予測に関する記述が含まれています。過去の事実と該当しない記述は全て将来の予測に関する記述に該当し、これらの記述には、「考えます」、「見込みます」、「計画します」、「予測します」、「可能性があります」、「はずです」、その他同様の表現が先行し、後続し、あるいは含まれる記述、取引にかかる届出及び許認可取得の予測時期に関する記述、取引完了の予測時期に関する記述、様々な取引実行の前提条件を踏まえた取引の実行可能性に関する記述及び上記の前提となる仮定事項に関する記述が含まれます。業績予測、製品販売予測、その他過去の事実と該当しない事項は全て将来の予測に関する記述であり、当社による現在の情勢及び情報に関する現時点の見解を反映しています。投資家及び株主は、これらの将来の予測に関する記述に過度に依拠することのないようご注意ください。現在予測されている事項は、多くの場合当社のコントロールが及ばない事由によって変化する様々なリスク及び不確実性により、実際の結果と大きく異なる可能性があります。実際の結果を予測と異なるものとする事由には、公開買付け及び合併のタイミングの不確実性、公開買付けにおけるSepracor Inc. (以下「セプラコール社」) 応募株主数の不確実性、対抗公開買付けが行われるリスク、様々な取引実行条件が充足又は放棄されないリスク(政府機関が取引完了のために必要な許認可を付与しないこと、許認可の付与を遅延させること及び拒否することを含む)、取引によって従業員、ライセンサー、その他取引先及び政府機関との関係維持が困難となることの影響や、その他当社のコントロールが及ばない事業上の影響(業界、経済、政治情勢の変化を含む)、取引にかかるコスト、実在する債務又は偶発的な債務、その他セプラコール社が米国証券取引委員会(SEC)へ提出する文書、(当社の間接完全子会社である)Aptiom, Inc. (以下「アプティオム社」)が提出する公開買付けにかかる文書、及びセプラコール社が提出する意見表明書において述べられているリスクや不確実性が含まれます。従って、将来の予測に関する記述において予測されている事象が実際に発生するという保証はなく、たとえ発生したとしても、当社の業績又は財務状況にどのような影響が生じるかについての保証はありません。当社は、新しい情報、将来の状況変化及びその他の事情により、将来の予測に関する記述を更新又は修正するいかなる義務も負いません。

<追加情報について>

本資料に記載されているセプラコール社の発行済普通株式にかかる公開買付けはまだ開始されておりません。本資料は、いかなる証券の買付の募集にも該当せず、また売付の募集を勧誘するものではありません。セプラコール社普通株式の買付の募集及び勧誘は、当社の間接完全子会社であるアプティオム社がSECに提出する買付提案書及び関連資料に基づいて行われます。公開買付けの開始時に、アプティオム社はSECにSchedule TOによる公開買付け届出書を提出し、続いてセプラコール社はSchedule 14D-9による公開買付けにかかる意見表明書を提出する予定です。公開買付け届出書(買付提案書、送達状、その他の公開買付け関連文書を含む)及び意見表明書には重要な情報が含まれることから、公開買付けに関する決定をされる前に熟読されるようお願いいたします。これらの資料はセプラコール社の全ての株主に無料で送付されます。また、これらの資料(及びセプラコール社によってSECに提出された全ての資料)は、無料でSECのウェブサイト<http://www.sec.gov> から入手することができます。投資家及び株主は、これらのSEC提出資料を、セプラコール社のウェブサイト<http://www.sepracor.com>からも無料で入手することができます。